

2020年度 教育プログラム及び学生受け入れの自己点検・評価結果

2022年9月

高等教育開発センター

2020年度の教育プログラム及び学生受け入れに関する自己点検・評価は、大学機関別認証評価の基準等をもとに作成した「自己点検シート」によって、まず各教育プログラムがそれぞれ自己点検を行い、次にその結果を高等教育開発センター（2021年4月設置）が判定するという手順で進められた。

以下、教育プログラムの構成、高等教育開発センターの判定方法、自己点検・評価結果の概要、及びその結果を踏まえた2021年度の改善事例を示す。

■自己点検・評価の対象

I：学士課程

	教育プログラム（12件）
地域学部	地域学科
医学部	医学科、生命科学科、保健学科（看護）、保健学科（検査）
工学部	機械物理系学科、電気情報系学科、化学バイオ系学科、 社会システム土木系学科（社会）、社会システム土木系学科（土木）
農学部	生命環境農学科、共同獣医学科

II：大学院課程（修士・博士前期課程）

	教育プログラム（6件）
医学系研究科（修士）	臨床心理学専攻
医学系研究科（博士前期）	医科学専攻
持続性社会創生科学研究科（博士前期）	地域学専攻、工学専攻、農学専攻、国際乾燥地科学専攻

III：大学院課程（博士・博士後期課程）

	教育プログラム（10件）
医学系研究科（博士）	医学専攻
医学系研究科（博士後期）	医科学専攻
工学研究科（博士後期）	機械宇宙工学専攻、情報エレクトロニクス専攻 化学・生物応用工学専攻、社会基盤工学専攻
連合農学研究科（博士）	生産環境科学専攻、生命資源科学専攻、国際乾燥地科学専攻
共同獣医学研究科（博士）	共同獣医学専攻

■自己点検・評価結果の分類

分類	判断基準
○	改善の成果が十分認められるもの。
△	改善の試みは認められるが、今後も引き続き改善の取組が求められるもの。
※	改善の取組が十分ではなく、今後早急に着手することが求められるもの。

■自己点検・評価結果及び改善の取組状況

I：学士課程（12の教育プログラム）

□自己点検・評価結果

・教育プログラム

	区分	○	△	※
1	ディプロマ・ポリシーの明示	12	0	0
2	カリキュラム・ポリシーの明示	12	0	0
3	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの整合性	12	0	0
4	教育課程編成の体系性	12	0	0
5	授与学位の水準	8	4	0
6	他大学における単位認定	12	0	0
7	年間の授業期間	12	0	0
8	各科目の授業期間	10	2	0
9	適切な授業形態と学習指導法の採用及びシラバスの公表	12	0	0
10	教育上主要と認める授業科目の担当教員	11	1	0
11	夜間授業の実施	—	—	—
12	履修指導の組織的体制と実施	12	0	0
13	学習相談の体制と実施	11	0	1
14	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施	6	6	0
15	履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援の体制と実施	12	0	0
16	成績評価基準の組織的策定	12	0	0
17	成績評価基準の公表	12	0	0
18	成績評価や単位認定に関する組織的实施	6	6	0
19	成績に対する異議申立て制度に関する組織的实施	12	0	0
20	卒業要件の組織的策定	12	0	0
21	卒業要件の公表	12	0	0
22	卒業認定の組織的实施	12	0	0
23	学習成果の把握（卒業率、資格取得、受賞等）	7	5	0
24	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等）	9	3	0
25	学習成果の把握（学生からの意見聴取結果）	8	4	0
26	学習成果の把握（卒業生からの意見聴取結果）	2	10	0
27	学習成果の把握（就職先等の関係者からの意見聴取結果）	2	10	0

・学生受け入れ

	区分	○	△	※
1	アドミッション・ポリシーの明示	12	0	0
2	入学者選抜の実施	12	0	0
3	入学者選抜の検証・改善	12	0	0
4	入学者の定員管理	12	0	0

*有色セルは、△・※判定が複数の教育プログラムに及び、組織的な改善が期待される区分。

*教育プログラムによっては対象外の区分もあるため、3分類の合計が12にならない場合がある。

*区分が複数の細目から成る場合、1つの細目でも△・※があれば、それぞれ△・※と判定している。

□2021 年度の改善の取組状況

・教育プログラム

	区分
5	授与学位の水準 <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの相互チェックを実施。 ・教務部会でシラバス・チェック。
8	各科目の授業期間 <ul style="list-style-type: none"> ・学外実習、短期学外実習は単位数に相当する課題を実施／特別講義（集中講義）を7.5週相当の1単位科目として設定。
10	教育上主要と認める授業科目の担当教員 <ul style="list-style-type: none"> ・専任の教授・准教授を配置。
13	学習相談の体制と実施 <ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー・ビデオ会議ソフトでの学習支援の事例がある。
14	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップへの参加。 ・卒業生の活動を学ぶ「学外研修」を授業として設定している。 ・学外の臨地実習を実施。 ・プロジェクト系科目：学外向け発表会の実施、コンテスト応募・受賞。 ・学外実習、短期学外実習を開設（受講は企業インターンシップより少）。
18	成績評価や単位認定に関する組織的实施 <ul style="list-style-type: none"> ・再試験該当率を算出し、学科教育評価委員会で検証を行った。 ・成績評価分布表等を関係委員会で確認した。 ・シラバスにおける評価基準の提示、学科評価委員会のアンケート分析。
23	学習成果の把握（卒業率、資格取得、受賞等） <ul style="list-style-type: none"> ・学部教育支援室で学習困難を抱える学生に学習カウンセリングを実施。 ・標準修業年限内及び同×1.5年内卒業率が7-9割の水準に上昇した。
24	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等） <ul style="list-style-type: none"> ・進学先はほぼ本学大学院、就職は専門知識と関係する業種で、妥当な状況である。
27	学習成果の把握（就職先等の関係者からの意見聴取結果） <ul style="list-style-type: none"> ・学外関係組織との協議会を開催し、意見交換を行っている。 ・JABEE自己点検委員会における外部委員の意見の聴取。

Ⅱ：修士・博士前期課程（6つの教育プログラム）

□自己点検・評価結果

・教育プログラム

	区分	○	△	※
1	ディプロマ・ポリシーの明示	6	0	0
2	カリキュラム・ポリシーの明示	6	0	0
3	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの整合性	6	0	0
4	教育課程編成の体系性	6	0	0
5	授与学位の水準	2	4	0
6	他大学における単位認定	4	0	0
7	大学院課程における研究指導《大学院課程のみ》	6	0	0
8	年間の授業期間	6	0	0
9	各科目の授業期間	5	1	0
10	適切な授業形態と学習指導法の採用及びシラバスの公表	4	2	0
11	教育上主要と認める授業科目の担当教員	6	0	0
12	夜間授業の実施	5	0	0
13	履修指導の組織的体制と実施	6	0	0
14	学習相談の体制と実施	6	0	0
15	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施	3	3	0
16	履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援の体制と実施	5	1	0
17	成績評価基準の組織的策定	6	0	0
18	成績評価基準の公表	6	0	0
19	成績評価や単位認定に関する組織的实施	2	1	3
20	成績に対する異議申立て制度に関する組織的实施	6	0	0
21	修了要件の組織的策定	6	0	0
22	学位論文審査基準の組織的策定 《大学院課程のみ》	6	0	0
23	修了要件の公表	6	0	0
24	修了認定の組織的实施 《大学院課程のみ》	6	0	0
25	学習成果の把握（修了率、資格取得、受賞等）	5	1	0
26	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等）	3	3	0
27	学習成果の把握（学生からの意見聴取結果）	3	3	0
28	学習成果の把握（修了生からの意見聴取結果）	3	3	0
29	学習成果の把握（就職先等の関係者からの意見聴取結果）	2	4	0

・学生受け入れ

	区分	○	△	※
1	アドミッション・ポリシーの明示	6	0	0
2	入学者選抜の実施	6	0	0
3	入学者選抜の検証・改善	6	0	0
4	入学者の定員管理	5	0	1

□2021 年度の改善の取組状況

・教育プログラム

	区分
5	授与学位の水準 ・高等教育開発センターのチェックに基づき教務部会でシラバスを検証
15	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施 ・インターンシップの実施
19	成績評価や単位認定に関する組織的实施 ・シラバスに評価基準を提示し、シラバスの内容を相互にチェック
26	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等） ・進捗状況報告の実施

Ⅲ：博士・博士後期課程（10の教育プログラム）

□自己点検・評価結果

・教育プログラム

	区分	○	△	※
1	ディプロマ・ポリシーの明示	10	0	0
2	カリキュラム・ポリシーの明示	10	0	0
3	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの整合性	10	0	0
4	教育課程編成の体系性	7	3	0
5	授与学位の水準	7	3	0
6	他大学における単位認定	8	0	0
7	大学院課程における研究指導《大学院課程のみ》	10	0	0
8	年間の授業期間	10	0	0
9	各科目の授業期間	10	0	0
10	適切な授業形態と学習指導法の採用及びシラバスの公表	5	4	1
11	教育上主要と認める授業科目の担当教員	8	0	2
12	夜間授業の実施	6	0	0
13	履修指導の組織的体制と実施	10	0	0
14	学習相談の体制と実施	10	0	0
15	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施	3	3	4
16	履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援の体制と実施	7	3	0
17	成績評価基準の組織的策定	10	0	0
18	成績評価基準の公表	10	0	0
19	成績評価や単位認定に関する組織的实施	0	2	8
20	成績に対する異議申立て制度に関する組織的实施	8	0	2
21	修了要件の組織的策定	10	0	0
22	学位論文審査基準の組織的策定《大学院課程のみ》	10	0	0
23	修了要件の公表	10	0	0
24	修了認定の組織的实施《大学院課程のみ》	10	0	0
25	学習成果の把握（修了率、資格取得、受賞等）	3	3	3
26	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等）	2	4	3
27	学習成果の把握（学生からの意見聴取結果）	4	5	0
28	学習成果の把握（修了生からの意見聴取結果）	0	9	0
29	学習成果の把握（就職先等の関係者からの意見聴取結果）	3	6	0

・学生受け入れ

	区分	○	△	※
1	アドミッション・ポリシーの明示	10	0	0
2	入学者選抜の実施	9	0	1
3	入学者選抜の検証・改善	6	1	3
4	入学者の定員管理	5	0	5

□2021 年度の改善の取組状況

・教育プログラム

	区分
10	適切な授業形態と学習指導法の採用及びシラバスの公表 <ul style="list-style-type: none"> ・記載状況：相互チェックで確認 周知状況：全てウェブサイトへ掲載して周知 授業形態：少人数授業、対話・討論型授業を実施 ・シラバスの改善を実施。
11	教育上主要と認める授業科目の担当教員 <ul style="list-style-type: none"> ・主要科目の定義：「ディプロマポリシー修得において基幹となる科目」
15	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブ型インターンシップの設定 ・科学コミュニケーションⅡの取り組み
16	履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援の体制と実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生へのガイダンス資料において、合理的配慮に係る支援申請書の提出について記載し、支援希望者を把握する体制を整えた。
19	成績評価や単位認定に関する組織的实施 <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスに評価基準を提示し、シラバスの内容を教員相互でチェック ・成績評価分布を出し、評価を行った。
20	成績に対する異議申立て制度に関する組織的实施 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学法人文書管理規程により各教員が成績評価資料を一定期間保存
25	学習成果の把握（修了率、資格取得、受賞等） <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価会及び標準年限調査報告書による状況把握に取り組んでいる。
26	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等） <ul style="list-style-type: none"> ・就職先データをまとめ、妥当であることを確認 ・在学生のプロフィールの公開による就職支援
27	学習成果の把握（学生からの意見聴取結果） <ul style="list-style-type: none"> ・修了生アンケートによって状況を確認
28	学習成果の把握（修了生からの意見聴取結果） <ul style="list-style-type: none"> ・修了生の就職先に対するアンケートを実施

・学生受け入れ

	区分
2	入学者選抜の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・口述試験等の判定基準を確認した。
3	入学者選抜の検証・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・入試委員会において、試験問題の検討や学力検査の採点及び評価を行う体制を整えけるとともに、筆記試験免除の判定基準の見直しを検討した。 ・判定基準の見直しを行った。